【伊勢崎市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

国の掲げるGIGAスクール構想においては、「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること」「これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師、児童生徒の力を最大限に引き出すこと」を目指すこととされている。

これを受け、これまでの取組みをさらに充実させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、子供たちや教員によるICTの積極的、効果的な活用を推進し、子供たちがわかる喜びやできる楽しさを味わいながら、他者との関わりを深め、確かな学力を身につけて、未来を切り拓く力を育成することを目指し、本計画を策定するものである。

ICTを活用することで、児童生徒が、自らの学習履歴等の教育データを利活用しながら学習課題を設定するなど、主体的に学習を最適化できるよう、環境整備及び研修の充実を目指し、具体的な取組みを推進できるようにしていく。

2. GIGA第1期の総括

【一人一台端末の活用の現状について】

令和5年度時点では、全ての学校で、児童生徒1人ひとりに貸与したタブレット端末や、各教室に1台ずつ配備した電子黒板の活用が積極的に行われている。

授業中には、児童生徒も教員もタブレット端末を手元に置き、必要に応じて、いつでも学習に関する調べ事ができ、また、自分の意見をタブレット端末で入力して教室前面の黒板近くに置かれている電子黒板に表示させることができる。

児童生徒は、活動に応じて素早くタブレット端末を起動させて図表や動画等を確認したり、カメラ機能を使って写真や動画を撮影したり、文字入力により自分の考えを表現したりするなど、自分の考えをもつために情報を集めることや、集めた情報を基に自分の考えを表現すること、互いの考えを伝え合いながらよりよい考えにしていくことを中心に、タブレット端末を活用している。

今後も保護者の方の御理解と御協力を得ながら、使いたいときにいつでも使える文房具の1つとして、児童生徒がタブレット端末を活用できるように取り組んでいきたいと考えている。

3. 一人一台端末の利活用方策

以下の目的に向け、施策を展開することとする。

- ICT を活用した児童生徒の資質能力の育成
- ICT を活用した教職員の指導力の向上
- ICT 環境整備の充実

<施策>

○学習生活支援 (1) 学力向上対策	☐ 授業支援アプリの活用推進 ☐ AI ドリルの活用推進 ☐ デジタル採点システムの活用推進 ☐ CBT の活用推進 ☐ 特別教室への電子黒板の設置 ☐ デジタル教科書の活用推進（教師用・児童生徒用） ☐ 生成 AI の活用研究
(2) 人的支援	☐ ICT 支援員の活用
① 研修	☐ 専門家の知見を生かした研修推進 例) スーパーバイズ事業 / 市 DX の活用 ☐ 児童生徒及び教職員の情報モラルの向上 ☐ 情報主任会の定期開催 ・教育委員会からの情報発信、学校現場の課題の共有等
② 不登校対策	☐ 家庭での学習支援のための ICT 活用 ☐ 教室と家庭をつなぐ ICT 活用 ☐ 先生と児童生徒をつなぐ ICT 活用（校内外共に） ☐ 心の健康アプリの活用
③ 発達支援 (特別支援・通級)	☐ 特別支援学級や通級指導教室に効果的なアプリの精選 ☐ 特別支援学級や通級指導教室担当教諭向けの研修の充実
④ 日本語指導	☐ 日本語教室同士をオンラインでつなぐ取組の推進 ☐ 翻訳アプリ導入の検討・推進 ☐ 大学の専門家との連携